

# 福島県復興祈念公園 概成

東日本大震災から15年——震災による犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓を後世に伝える「福島県復興祈念公園」が概成した。震災復興の集大成となるプロジェクトとして教訓から学び、培った技術と対応力、現場力を次の世代へついでいく。  
写真提供/東北地方整備局東北国営公園事務所、福島県(航空写真/植留緑化土木)



### 記憶と教訓を後世に

福島県知事  
内堀 雅雄

東日本大震災と原発事故から15年余りが経過しました。この間、福島県民の皆さまの懸命なご努力と国内外からの温かいご支援により、当県は着実に復興の歩みを進めてまいりました。

一方で、今もなお多くの方々が避難生活を続けておられるほか、復興の進捗に伴って生じる新たな課題やニーズへの対応が必要となるなど、当県はいまだ原子力災害に起因する多くの困難を抱えています。

このような中、福島県では、復興の記憶と教訓を後世に伝えるとともに、復興に向けた歩みを着実に進める当県の姿を国内外へ発信するため、国との連携の下、「福島県復興祈念公園」の整備を進めてきたところであり、東日本大震災と原発事故から15年、また、現在の福島県が誕生してから150年という大きな節目の年に開園することができましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

福島県といたしましては、隣接する東日本大震災・原子力災害伝承館とも連携を図りながら、ホープツーリズムや、今年から始まった「ふくしまアステーションキャンペーン」などを通じて、多くの方々へ復興祈念公園を訪れていただき、復興が進む「福島」を、直接「見て」「触れて」「感じて」いただけるよう取り組んでまいります。



### 復興の歩み、未来へ継承

東北地方整備局  
局長 西村 拓

東日本大震災から15年の節目を迎え、これまで進めてきた復興の軌跡を改めて振り返りますと、東北地方整備局では道路・港湾・河川の基幹インフラの早期復旧・復興をはじめ、復興まちづくりに向けた自治体支援など、地域の安全確保と生活再建に直結する事業を着実に進めてまいりました。同時に、震災の教訓を未来へ伝える取り組みを地方公共団体との連携の下、それぞれの地域の思いを形にしてきました。

このたび開園を迎える「福島県復興祈念公園」及び「国営追悼・祈念施設」は、こうした復興の象徴として重要な存在です。犠牲者への追悼、事実と教訓の伝承、そして復興の未来への希望を示す場として、福島県と連携して整備を進めてきました。園内には、震災で犠牲となった生命(いのち)をいたむとともに、震災の記憶や教訓を次世代へつなぎ、帰還された方々や来園者などが復興への思いを共有し、新たなつながりを得ることのできる空間を配置しています。これらの施設は、震災で起きたことに多くの方が心を寄せるとともに、後世へと伝え、復興への歩みを進める福島県を広く発信するために重要な役割を担うものです。

これまで復旧・復興を支えてこられた建設業界の皆さまのご尽力に深く敬意を表するとともに、引き続き力を合わせ、安全で持続可能な地域づくりを進めていきたいと考えています。



### 「福島県復興祈念公園」整備概要

福島県復興祈念公園は、沿岸部の双葉・浪江両町にまたがるエリアに約46・4分の広さを有しており、7つのエリアで構成されています。そのうち、福島県が整備した5つのエリアを紹介します。

- ①多目的広場  
復興に関するイベントをはじめ、様々な活動ができる約3・0分の芝生広場が広がります。災害時の臨時ヘリポートの機能も備えています。
- ②中野地区集落  
地震や津波による被災の後、原子力発電所事故の影響により長期避難を余儀なくされた集落の面影が遺されています。
- ③中野の丘  
オアシスマツクラをはじめとした桜の木が地域の復興を見守る丘に植栽されています。
- ④だんご山  
その特徴的な見た目から、地域の方言に「だんご山」と呼ばれていました。山の周辺では震災以前にあった水田の風景が広がっています。そのうち、福島県が整備した5つのエリアを紹介いたします。

### 震災の教訓 伝え、つなぐ

復興に関するイベントをはじめ、様々な活動ができる約3・0分の芝生広場が広がります。災害時の臨時ヘリポートの機能も備えています。

地震や津波による被災の後、原子力発電所事故の影響により長期避難を余儀なくされた集落の面影が遺されています。

オアシスマツクラをはじめとした桜の木が地域の復興を見守る丘に植栽されています。

その特徴的な見た目から、地域の方言に「だんご山」と呼ばれていました。山の周辺では震災以前にあった水田の風景が広がっています。そのうち、福島県が整備した5つのエリアを紹介いたします。

復興に関するイベントをはじめ、様々な活動ができる約3・0分の芝生広場が広がります。災害時の臨時ヘリポートの機能も備えています。

地震や津波による被災の後、原子力発電所事故の影響により長期避難を余儀なくされた集落の面影が遺されています。

オアシスマツクラをはじめとした桜の木が地域の復興を見守る丘に植栽されています。



円筒形の空間/水盤

### 国営追悼・祈念施設設計のポイント

#### 求心、希望の発信の場に

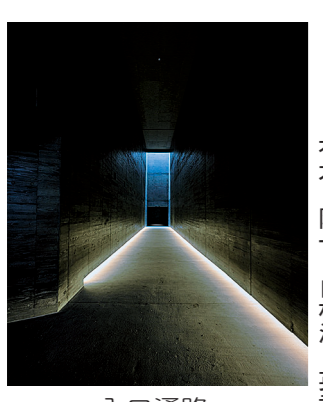
東日本大震災から15年、福島では地震・津波の被害と原子力災害を抱え、時間を要しながらも少しずつ復興に向かっています。

本施設は福島県復興祈念公園の中心に福島に対する人々の思いが集まっていく(求心)とともに、福島復興の中心となる(発信)というコンセプトのもと、中央部に円筒形の空間へと転換し、暗い通路(以下、入口通路)を抜けた先には水盤があり、そして祈念台へと至る通路(以下、「出口通路」)を設け、施設の一連の動線の中で、犠牲者への追悼・鎮魂と未来への希望を体感する場を設けました。

来訪者を迎え入れるエントランスホールは温かみを感じられる木質の空間とし、入口通路は、コンクリート主体に水盤に至るまでの気持ちを切り替える場として設けました。

水はかねてよりあの世とこの世の境界として考えられています。本施設では丘の中心の円筒形の空間に「水盤」を落とし込み、3・11に意識を向ける落着きと静けさを演出しています。

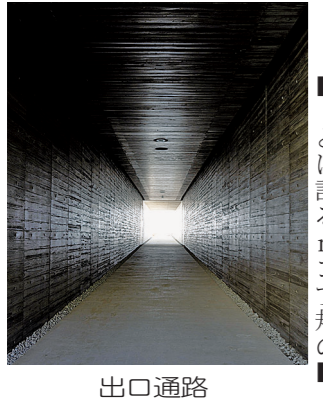
出口通路は未来へ向かう空間として、光の増していく方向へ進み、海に開けた広場にある祈念台に至ります。丘から望む公園とその周辺の広大な空間をそこには人々の暮らしがあったことを私たちが忘れてはならないと考えます。



入口通路



献花台



出口通路

### 国営追悼・祈念施設施工のポイント

■建物の特徴  
福島国営追悼・祈念施設は、独特な意匠と施工技術が際立つ建築物です。玄関前には杉板模様のコンクリート打ち放しの壁が設けられており、その質感と重厚感が訪れる人々を迎えます。入口通路には高さ8.6mの壁がそびえ立ち、こちらも杉板模様のコンクリート打ち放しで仕上げられています。さらに、直径24m、高さ14mという大規模な円筒空間が設けられている点が、この施設の象徴的な構造です。

■平面形状と施工難易度  
完成後は地下に位置するため、普段は意識されにくいですが、平面形状も特殊であり、施工の難易度が非常に高いプロジェクトでした。建築施工担当者としては、これほど挑戦的な現場に携われたことは大きなやりがいであり、若い担当者の技術的な成長につながる貴重な経験となりました。

■職人の力とリーダーシップ  
この建築工事には約2万6000人もの職人が従事し、各々の技術と情熱を結集して施設を完成させました。決して規模が大きい建物ではありませんが、当社のリーダーシップのもと、携わった人々が力を合わせて創り上げた建物です。その結束と協力が、

### 難易度の高いプロジェクトに技術者魂結集

プロジェクト成功の原動力となりました。

■祈りの場としての期待  
今後、施設が開園されれば、多くの人々が訪れ、それぞれの思いを胸に祈りを捧げる場となることでしょう。福島県復興の記憶と未来への祈りが交差するこの場所が、訪れる人々にとって心の拠り所となることを願っています。

株式会社大林組東北支店  
福島県復興祈念施設工事事務所  
所長 熊谷 敦

### 国営追悼・祈念施設工事概要

東北地方整備局東北国営公園事務所では、この東日本大震災による犠牲者の追悼、震災の記憶と教訓の継承への伝承、後世への復興に向けた強い意志の発信のため、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市、福島県双葉郡双葉町・浪江町において、地方公共団体との連携の下、「国営追悼・祈念施設」の整備・管理運営を進めてきました。

地震と津波、そして原子力災害という未曾有の被害を受けた福島県において「生命をいたみ、事実を伝え、緑をつなぎ、息吹をみかえる」の理念の下、福島県復興祈念公園を整備する福島県と連携して事業を行い、関係者の皆さまの多大なご支援により、東日本大震災から15年の節目を迎える年に、福島復興祈念公園及び国営追悼・祈念施設を開園することとなりました。

福島復興祈念公園の中央部に配置される国営追悼・祈念施設では、福島県に対する人々の思いが集まるとともに、

福島復興祈念公園の中央部に配置される国営追悼・祈念施設では、福島県に対する人々の思いが集まるとともに、

福島復興祈念公園の中央部に配置される国営追悼・祈念施設では、福島県に対する人々の思いが集まるとともに、

## 福島国営追悼・祈念施設

■福島国営追悼・祈念施設(仮称)管理施設建築工事

# 株式会社 大林組

仙台区青葉区上杉 1-6-11  
電話 022-267-8511

常務執行役員東北支店長 鈴木 直行

■福島国営追悼・祈念施設(仮称)管理棟電気設備工事	株式会社 ユアテック 取締役社長 小林 郁見 社長執行役員 仙台市宮城野区欄岡 4-1-1 電話 022-296-2111	■福島国営追悼・祈念施設(仮称)施設等整備工事	株式会社 植留緑化土木 代表取締役 田中 吉満 福島市飯坂町平野字原東 1-7 電話 024-542-2811
■型枠工事・クレーン工事 有限会社 安部建業 福島市上島字仲原29番地 電話 024-573-1404	■躯体目直し工事・ウォータージェット仕上げ工事 株式会社 久野製作所 福島県二本松市針道字佐勢ノ宮22-1 電話 0243-46-3871	■自動ドア工事 ナブコシステム株式会社 いわぎ営業所 福島県いわき市平上荒川字桜野51-1 電話 0246-28-7725	■鋼製建具工事 株式会社 不二サッシ東北 福島県郡山市八山田1-2 電話 024-901-3134
■木工事・床工事・家具工事 石川宮板 株式会社 宮城県名取市上田字千刈731番地 電話 022-384-3404	■地盤改良工事 株式会社 ジーエル 仙台市青葉区木町通1-1-25 電話 022-398-3591	■竣工クリーニング 株式会社 びげん 仙台市宮城野区中野字寺前46-3 電話 022-259-9134	■型枠工事 株式会社 古川工務店 福島県いわき市小名浜住吉字袋36-2 電話 0246-58-3938
	■内装仕上げ工事(経族・ボード) 株式会社 東信 仙台営業所 仙台市青葉区二日町13-18 電話 022-281-9894	■鉄筋工事 株式会社 平山鉄筋 福島県郡山市市野町47-11 電話 024-944-3994	■仮設電気工事 ミノシマ株式会社 郡山営業所 福島県郡山市田村町町屋新築26番地 電話 024-983-4200
	■木造作工事 株式会社 内外テクノス 仙台営業所 仙台市青葉区二日町12-21 電話 022-266-5760	■屋根工事 株式会社 長井商事 福島県郡山市安積2-267 電話 024-945-0384	

■都市公園(祈念)工事(機械)管理棟 ■都市公園(祈念)工事(トイレ・機械)水辺の広場 ■都市公園(祈念)工事(トイレ・機械)中野地区	■都市公園(祈念)工事(トイレ・建築)中野地区	■地域振興(公共)工事(公園施設)動物慰霊碑等
双葉設備工業株式会社 代表取締役社長 阿宇 芳久 福島県双葉郡浪江町大字高瀬字宇堂 60-1 電話 0240-27-1253	田中建設工業株式会社 代表取締役 田中 美昭 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字町頭 15 番地 電話 0240-34-6125	株式会社 伊藤工務店 代表取締役 伊藤 拓夫 福島県双葉郡双葉町大字中野字竹ノ花 7 番地 電話 0240-23-7802